

授業科目 検査測定評価学 II

【担当教員名】 古西 勇 他		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 理学療法の臨床において、検査測定評価の「思考」や「技術」は、対象者に実施する個別の治療の方針や枠組みを決定するために用いられる。この授業科目では、各種検査測定法の手順を修得し、評価全体の流れを修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 評価全体の流れについて述べる。 2. 徒手筋力検査法の手順に慣れる。 3. 医療記録を模倣する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 5. 疾患別の評価への応用を模倣する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	徒手筋力検査法 総論, 握力測定		2, 4	講義・演習 (握力測定), 演習レポート提出	
2	理学療法評価 総論, 情報収集・医療面接		1, 2	小テスト (徒手筋力検査法 総論), 講義・演習	
3	診療記録, SOAP		1, 3	講義・演習 (SOAP), 演習課題提出	
4	整形外科疾患, 評価項目の選択		1, 4, 5	講義・演習 (具体的な評価項目), 演習課題提出	
5	評価のアプローチ (ボトムアップとトップダウン)		1, 4, 5	講義・演習 (動作分析), 演習課題提出	
6	統合と解釈, 障害のとらえ方		1, 3, 4	講義・演習 (統合と解釈), 演習課題提出	
7	問題点と目標設定, 治療プログラム立案		1, 3, 4	講義・演習 (評価の思考過程), 演習課題提出	
8	症例報告書と考察, 障害と活動の評価		1, 3, 4, 5	講義・演習 (考察), 演習課題提出	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・徒手筋力検査法 第8版	Hislop HJ 他	協同医学出版社	2008・7,875円
		シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト	細田多穂(監修)、星文彦(編集)、伊藤俊一(編集) 他	南江堂	2010・5,700円+税
参考書		診察と手技がみえる vol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
		理学療法評価学 改訂第3版	松澤正 他	金原出版	2011・6,200円+税
		ベッドサイド神経の診かた第16版	田崎義昭	南山堂	2004・7,560円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
各回の出席 (出席票や課題, 小テストの提出で確認することあり) や授業態度 (遅刻せずに席についているか, 授業中に無断で席を立ったり授業と関係のないことをしていないか) を定期試験を受ける必要条件として評価する (8回中2回以上の欠席で, 定期試験を受けられない場合あり). 定期試験は筆記試験とし, 試験範囲は各回の学習課題に関するもので, 授業内容の全範囲の基礎的・専門的知識の理解を問う問題と, それに基づいて自分の思考・判断, 意見を論理的に述べる問題, 医療行為に関する記録を適切な日本語・専門用語で記述する問題を出題する。					